

海峰小学校運動会

9月12日(土)、「心を燃やせ海峰キッズ 全カプレーで優勝目指せ」のテーマの下、運動会が行われました。新型コロナウイルス感染への対策から、午前中だけの開催になりました。

練習時間も十分ではなかったとは思えないくらい、きびきびした態度で競技やリズム、係活動等に取り組んでいました。とてもいい運動会でした。



阿尾保育園「あおっこスポーツデー」

9月26日(土)、保育園で「あおっこスポーツデー」が行われました。新型コロナウイルスへの感染対策から、1家族2人までという参加制限がありました。

園庭の入口で入場者一人一人を検温したり、競技で子供たちが器具に触れるたびに消毒したり等、新型コロナウイルスへの十分な対策を行っていました。

先生方のきめの細かい配慮のお陰で園児たちは、思いっきり競技やダンスに取り組んでいました。思いやりにあふれたスポーツデーになりました。

雨が心配されましたが、競技中は雨が降らず過ごしやすい日になりました。



*公民館主事の独り言

スタンフォード大学の心理学者レッパーは、「子供たちに絵を好きになってもらうにはどうしたらよいか？」というテーマのもと実験を行った。子供たちをAとBの2つのグループに分け、Aのグループだけにいい絵を描いたら金メダルが与えられることを伝えた。

取り組んだ時間と熱心さを観察するとAグループは、Bグループより取り組んだ時間が少なかった。

この実験を行った学者たちは、次のように考えた。子供は、「大人が子供に『ごほうび』の話をするとき、必ず『嫌なこと』をさせるときだ」ということを学習してきている。『絵を描くこと』=『嫌なこと』なんだと。

報酬そのものの存在がタスクを嫌なこととして認知させしめる要因になると指摘した。

これは子供だけに限った話ではない。大人を対象に公園でのごみ拾いをしたときの報酬に多めの金額を提示したグループとわずかな報酬額を提示したグループに、作業終了後全員に、ごみ拾いがどのくらい楽しいか10点満点で採点してもらった。すると、報酬を多くもらったグループは平均2点であったのに対して、報酬がわずかだったグループは8.5点だった。

意欲や充実感を高めるにはどうすればよいのだろうか。報酬ではないことが明らかであろう。

○10月の講座案内

講座名	曜日	開設日	講師等	時間	部屋
生け花 (池坊)	第1・3水曜日	7日 21日	西山栄津子	10:00～ 14:00	洋室
かな書道	第1・3月曜日	5日 19日	猶明 光華	13:00～	洋室
茶 道	土曜日(原則月2回)	3日 10日 17日 24日 31日	栗山 静子	14:00～	和室
学童茶道& 百人一首	原則毎週木曜日	1日 8日 15日 22日 29日	栗山 静子	15:00～	和室
詩 吟	毎週火曜日	6日 13日 20日 27日	布野 克巳	19:30～	洋室
手 芸	第3火曜日	20日	伏木あい子	13:30～	和室
潮華会(新舞踊)	毎週土曜日	3日 10日 17日 24日 31日	大野 朝子	19:30～	和室
潮月会(新舞踊)	毎週金曜日	2日 9日 16日 23日 30日	大野 朝子	13:00～	和室
囲碁サロン	毎週月・水曜日	5日 7日 12日 14日 19日 21日 26日 28日		13:30～	和室
フラダンス	第1・3火曜日	6日 20日	東軒みさ子	19:00～	和室

○阿尾公民館からのお知らせ

今年度の公民館祭は10月31日(土)・11月1日(日)の予定です。

10月16日(金)、午後7時から公民館祭実行委員会を行います。今年は、新型コロナウイルス感染の懸念から、例年とは異なる公民館祭になります。どのような配慮が必要か等を話合います。

○防災訓練

9月6日(日)の氷見市総合防災訓練に合わせて、阿尾自治振興委員会の役員12名が避難訓練を行いました。当初は、阿尾地域(阿尾・指崎・森寺・北八代)全体で、住民が参加した大規模な防災訓練を予定していましたが、新型コロナウイルス感染の懸念から市の指導があり、規模を縮小して、それぞれの地区で行いました。

阿尾地区では、午前8時の防災行政無線サイレンに合わせて避難を開始し、15分後には役員全員が海峰小学校に避難しました。その後、防災倉庫の中にある物を一つ一つ確認しました。



○クルマエビの放流



9月18日(金)、小雨の中、阿尾海岸の砂浜で3cm位に育ったクルマエビ2万匹を放流しました。参加者は、地元の漁業関係者7人と副市長、市漁協等6人、計13人でした。

このような地道で継続的な活動が、豊穡の海富山湾や氷見の漁業資源を守っているのですね。